

君津高校同窓会 主催

「県立学校改革推進プランの一部改訂（案）」及び
「県立学校改革推進プラン・第4次実施プログラム（案）」
に関する意見交換会

日 時 平成30年1月21日(日)
午後1時から午後3時
場 所 君津高校会議室

【出席者】

千葉県教育委員会（5名）

君津高校同窓会

君津高校PTA

君津高校拓心会（PTA役員OB、歴代校長、職員の交流会）

上総高校同窓会

その他一般

*意見交換会の進め方について

上記団体に属する方から等しく意見を聴くため、一人一問ずつ順番に意見を聴く事とした。

司会 それでは、ただいまより、意見交換会を始めさせていただきます。それでは最初に、君津高校同窓会の方で何か質問、意見がある方がいましたら挙手していただけますでしょうか。

同窓会 改革推進課の皆さんが決定しているということですが、この計画については検討されたものをどうしても実施しなければならないと考えているのか、それともいろいろな意見を聴いた中で実施をやめるとか訂正するとか変更するとか、そういうことも含んで考えていらっしゃるのかどうかということをお聴きしたいと思います。

県教委 私ども、県立高校につきまして、全ての学校に魅力あるものをということで、高校再編を考えております。今回、君津地区の君津高校、上総高校の統合につきましても、両校の魅力をということで考えました。先ほど話がございましたように、11月16日から1月4日まで、1カ月半ぐらいのパブリックコメント、あとは関係団体からの意見聴取、それから説明会等でいろいろな意見が出ました。そういったものを踏まえ、さらには、来月2月から始まる2月議会での論議を踏まえて、最終的に3月に決定、策定していこうと考えております。あくまでも今回示した案は県教育委員会でベストの案と考えております。ただ、全てこのとおりということではありません。これからも議論等を踏まえながら参考にさせていただきたいと思っております。以上です。

同窓会 ということは、案が示されてはいるが、このとおりにならない場合もあるということですね。要するに今後、広く大勢の皆さんの意見等々で変わる可能性はあるというふうに理解いたします。

それからもう1点、直接君津高校とは関係ないですが。こちらの資料の中に、京葉臨海コンビナートには大手製造業の工場が多数立地し新卒者を地元から多く採用したいとの企業からの要望があり、特に高校生採用にあたっては工業の基礎や基本を学んだ生徒を求めています。これは、高校のあり方について産業界からの要請があったということですが、実際に高校生にごはんを食べさせ、服を着せて、送り出しているのは住民です。やはり税金でやっている以上、基本的には住民の意向を多く尊重していただきたいということです。住民からしてみれば、子どもたちが、学校が減って通いづらくなるということは非常に困ることでしょうから。工業のほうから要望があるから、工業科を入れればいい。その様に聞くのであれば、学校を減らしたら通いづらくなるから減らしてほしくない、という住民の意見も多いと思います。これは経済原則で考えて、大量に税金を納めてくれる企業のほうを住民よりも優先せざるを得ないという事情があるのかどうかということをお聴きしたいと思います。

県教委 たしかに、以前より地元企業の方から要望はございました。この9学区といいま

すのは、市原市を含めて5つの市ですが（市原、袖ヶ浦、君津、富津、木更津）。この9学区には、近隣に臨海の工業地帯があるにも関わらず、工業を学ぶことができる高校がありません。他の学区、1から8学区まではございます。（全区は1から9学区）あとは、現在の中学生は普通科志向が非常に強いということで、新たに工業高校、あるいは専門学科ということで設置するとなかなか将来のことまで決めかねている。そういった中学生が多いということで、あえてコースにいたしました。特に、今回2校はコースを設置する予定でございます。まずは、9学区が非常に広範囲にわたっているということで、北は市原市の姉崎高校、南は富津市にございます天羽高校、この2校で考えました。あくまでも企業だけの要望ということではなく、当然ながら、中学校側からもそういった工業を学ぶことができる学校がないかなというそういった意見も踏まえてのことです。

同窓会 中学校からもそういう意見があったということは、今初めてお聞きいたしました。ただ、先ほど申し上げましたように、例えば、君津高校に教員基礎コースというような案もあります。それについても、たしかに教員になりたいという人はいるのかもしれませんが、某中学校の校長先生に言わせると、実際、何かの資格が取れるわけでもないのという声もあります。ですから、住民からしてみれば、そういうものとか工業コースを作ってもらふことよりも学校を残しておいてもらう方がよっぽど有り難いというふうに思います。

以前、君津市民文化ホールであった10の質問に対しての回答も見させていただきましたけれども、私立の高校に行っている子がこの地区は非常に多い。千葉県で一番大きな私立高校は、過疎地で過疎化が進んでいるこの地にあるということでもあります。そのバランスが悪いのではないかっていうことについて、それは中学生が自分でそのように選んでいるから仕方がないというようなことが書かれていました。私立の学校は、校舎をきれいにしたり、エアコンが入っていたり。しかし県立高校には入っていません。そういうところに結局お金を掛けないで、それで生徒が逃げていくから仕方がない、県立高校の人气がなくなって3クラスで減ってきちゃうのは仕方がない、だから統廃合だというのは、全くこれは営業努力をしていないに近いのではないかとこのように思います。先ほど最初にありました魅力的な学校ということですが、であれば私立に対抗できるような魅力的な、やはりお金を掛け施設面でも充実させていただかなければ、どんどん県立高校に入ってくる子が少なくなって、また、今度あの学校、今度あの学校となっていくのではないかとこのように思います。ぜひ、考えていただきたいと思います。以上です。

司会 それでは、今、ご質問があった件に対して、他にご意見がある方、いらっしゃれば。どうぞ発言していただければと思います。よろしいでしょうか。なければ、次にPTAの方から何かご質問があれば、どうぞ。

PTA 33年度実施ですが、上総高校、君津高校、32年度まで生徒募集しますか。それと、統合後の問題点と、それから対策ですね、今までやってきた。館山高校と安房水産、それから、船橋西高と船橋旭高、市川北高と、市川西高、松戸矢切高と松戸秋山高。今回と類似しないかもしれないですけど、そのときの問題点、対策、それから、その後の事後調査を教えてください。

県教委 今のお話なのですが、33年度に統合ということで、当然ながら、32年度まで募集はいたします。ただ、来年度、君津高校の普通科が6学級になります。上総高校が普通科2学級の園芸科が1学級です。今後、やはり、生徒数がどんどん減っていくことが予想されますので、募集学級数につきましては前年度の夏に発表することになっております。今から何学級になるのかということとはちょっとお答えできにくい、そういった状況になっております。

過去の統合、いろいろなパターンがございました。今おっしゃったように、実業高校、あるいは普通高校同士の統合。いろいろな課題が見えてきていますが、当然ながら、統合に向けた課題というのは、それぞれの学校の状況を総合的に判断し、よりいきいきとした、魅力ある学校づくりを目指す必要があるというのが課題となっております。君津高校は、進学で実績がありますし、公務員にもかなりなっております。一方で、上総高校は、農業、園芸部門でかなり評価も高い。この二つの学校を統合する案を考えたのは、やはり将来的に君津高校に通われる生徒さん、普通の進学校のみならず、違った目的を持つ生徒さんと一緒になって、お互い切磋琢磨し、視野が広がるのではないかなという考えもございまして、こういった案を公表した次第でございます。以上です。

PTA じゃあ、問題点とかその後の調査とかは、特に教育委員会もしてないということですか。対策とか。全てがすんなりいったとは思えないですけど。また、今回とはちょっと類似しないのですが、どうでしょうか。

県教委 はい。おっしゃるとおり、いろいろな問題点は出てきております、課題も。当然ながら、すんなりはいきません。どこもやはり課題がございまして、その中で、事前に準備委員会も立ち上がりまして、両校の状況を把握しながら準備を進めていくことになるのですが。当然ながら、統合しても問題点はございます。例えば、実業高校と普通高校、あるいは普通科高校の中でも、いろいろな、色が違う、カラーが違う生徒が一緒になる、そういったことへの問題点もございました。

司会 今の件に関しまして、関連しましたご質問、ご意見があれば、お受けしたいと思います。

PTA 上総高校、32年度まで募集をされるっていう話なのですが、園芸科のみではなく、普通科も募集されるということですか。

県教委 先ほどお話ししました、子どもたちが減ってきておりますので、学級数はまだお答えできないのですが、学科につきましても、普通科と園芸科が、現在、2学級と1学級ですが、今後検討材料となってきます。学校の状況等、いろいろ勘案して。

PTA それは、希望する人数によって。

県教委 それも当然ながら、勘案します。志願倍率といいますか。

同窓会 特色あるって話が出ていましたけど。園芸科を残す、本当の意味の目的がちょっと見えない。上総地区には、君津青葉高校がありますよね。そこに園芸科あるわけじゃないですか。高校って義務教育じゃないので、行きたい学校には自分で行けばいいことですが、君津になぜ園芸科を残さなきゃいけないか、大きな目的は。

県教委 私どもは、いろいろな地域の状況等を勘案、考慮しているのですが。まず、君津市というのは、農業に力を入れている農業法人を積極的に誘致しているという状況にございます。仮に、君津青葉高校と上総高校を統合した場合、君津青葉高校というのは総合学科ということで専門学科ではないです。1年に全体でやって、2年から系列に分かれる。そうしますとこの君津市内に農業に関する専門学科、園芸科がなくなってしまう、そういったことも今回の案に反映させてございます。

同窓会 では、今は上総の園芸科っていうところの卒業生で、園芸のほうに進む、農業に進む、もしくは農業の専門学校、大学に行っているっていうのはどのぐらいの率いらっしゃいますでしょうか。当然、学校のほうは調べていますよね？ 残す意味があるのだったら。

県教委 上総高校の中の園芸科で、即就農というのは、毎年、今年度も1名いますけども、1名とか2名とか、そういう割合ですけども。その後、県立農業大学校に進む生徒が結構いまして、そこから法人等に就職している生徒が約5、6名ということで。割合としては少ない。ただ、今後、園芸科を残すということで、君津市に法人等誘致していくということで、こちらのほうにつなげていきたいと考えています。

司会 それでは、次に拓心会の方から、ご質問、ご意見があればお受けしたいと思います。

拓心会 拓心会ですけれど、上総高校の卒業生でもあるのですが。上総高校園芸科を残すとさっきから言われているのですが、園芸科の道に進む生徒は、非常に少ないという事実がある。君津で農業に力を入れているといったことを言われているのですが、果たして、本当にそうなのか。園芸科というのはあくまで園芸であって、農業ということとはまたちょっと違うと思います。君津地区、その周りもそうですが、農業やっている方はいらっしゃいます。その方たちは、どれだけ世代交代しているか分かりませんが、これから先の将来後継者がいないとか、そういうことに問題が出てくる。実際にはすでに出ているかもしれません。そういったときに農業にもっと力を入れた学校、例えば、上総高校は昔、農学校でした。農業のことを学ぶための学校であり、それが段階を経て普通科ができて、園芸科ができていうことになっています。だったら上総高校を残し、それで農業のことにもっと力を入れる、そういう学校を作るのも一つの道じゃないかと。君津青葉高校と上総高校を統合するなり、そういう道もあるのではないかと思います。

君津青葉高校は久留里線を使っています。久留里線は、現在利用者が少ない。もしかしたら、廃止するかもしれないという話も出ている。仮に将来、久留里線がなくなった場合に青葉高校どうなるのでしょうか。久留里線がないから廃止する。そういう話も可能性がないとは言えないと思います。そうでしたら、もう少し便のいい上総高校に集約するという、そういうことも考えてもいいじゃないかなと思います。以上です。

司会 それでは次の団体へ。上総高校の同窓会の方から、ご意見、ご質問があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。居ない様でしたら、その他ということで参加している方、ご意見、ご質問があれば、お受けしたいと思います。

その他 地域住民として、昨年12月25日に質問を出した者として、再度質問をということでよろしいでしょうか。確認事項もあるのですが、生徒の移動にバスを使用しますとなっており、これはスクールバスのことでしょうか、路線バスのことでしょうか、それがまず1点。

それから自転車で行けるとか、平たんだからとかとおっしゃってございましたけれども、それは上総高校から君津高校、別に上総高校の近所に住んでいる子たちだけが君津高校に通うとかってということじゃなくて、いろんなどころから来ている。そういうときに、単純に距離だけをやったとしても意味がないというふうに思います。要するに、まやかじゃないのかなと思います。

それから、もう1点確認はですね、先ほど平成31年、32年入学の上総高校、2019年、20年ですね、入学の生徒は、要するに、上総で入って君津で卒業するというで間違いのないことでしたけれども。そうすると、普通科が今2クラス、それから園芸科が1クラス、上総ですね。それが、1クラス、1クラスになるのかどうかということとは分かりませんが、君津高校は今後、当然来年度から6クラスになる予定というふうに聞いており

ますけれども、それでずっといくのか。そうすると、校舎等の使用等もいろいろ出てくるので、その辺をお伺いしたいと思います。

それから、一番聞きたいのは、今日、君高の方々が一番聞きたいと思いますけれども。まず、私は、上総高校の合格最低点が何点ですかと聞いたのではなくて、統合されたときに君津高校の合格最低点は下がりますか、上がりますかと聞いたのです。それ、どういうことかというとならば、偏差値というものが厳然と、どんなに否定されても存在していますので。例えば、下がれば、君津高校の価値も下がりますね。あるいは、上がった場合にはこれまで君津高校に入れた子たちが入れなくなる、重要なところでありますので、その辺をきょうはお伺いしたい。

県教委 はい。まず、スクールバスに関しましては、スクールバスではなく、当然ながら、離れた実習、農場に送り迎えをするという、そういった考え方です。前回、第1次実施プログラムで提示いたしました大原高校がそういった感じになっております。路線バスは考えておりません。

2番目の地形的なものです。君津青葉高校と上総高校は、山越えといいますが、かなり厳しい、起伏が厳しい状況になっております。それよりは、やはり平坦な君津高校と上総高校が生徒の移動にはいいだろうということです。

3番目、上総高校で入って君津高校で卒業、統合後は、そういった形になろうかと思えます。あとは、君津高校のレベルというか最低点が、これは、もう先のことで何とも言い難い部分があるんですが、より魅力ある君津高校をより魅力ある学校にとわれわれ考えておりますので、ご理解いただければと思います。

拓心会 ちょっとすいません。先ほど、上総高校と君津青葉高校が山越えって言いますが、それって、君津青葉高校に通っている方があの地区だけの人で、上総高校に来るということですか。そもそも、君津青葉高校に通っている方は、久留里線を使って通学しているわけですよね。それで、山越えうんぬんっていう話は、それはちょっと違うのではないかなと思いますけど。

県教委 われわれがいろいろ調べたら、上総高校と君津高校の通学範囲、出身中学がかなり共通している。具体的には、上総高校は、君津駅周辺から結構多いです。当然ながら、近隣からも通っております。君津青葉高校は、やはり久留里線の関係で、木更津周辺の中学校からも結構多いです。ということです。

拓心会 そしたら、山越えの意味がない。

県教委 だから、上総に、あるいは君津青葉に通った生徒が、それぞれ地形の起伏がある。

その他 論理破たんしています。

P T A ちょっと分かんなくなっちゃう。使っている駅が木更津駅か君津駅かっていう違いだったら、別にレベルの一緒の君津青葉高校と上総高校が一緒になって、君津駅を使っていた子たちが木更津駅になっただけだから、そのほうが納得。

その他 君津高校と上総高校が同じ中学のっていうのは確かにそうですが、そもそものレベルが違うじゃないですか。違いませんか。私、同じ学区ですけど、そもそも君津高校に行く子と上総高校に行く子は根本的に違うと思います。だから、それを一緒に考えるのは、ちょっと乱暴じゃないかなと思います。

県教委 あと、現在上総高校に通っている生徒ですけども、久留里のほうから、あちらの中学から通っている生徒は一人もいないってことです。その逆もほとんどいません。

拓心会 そりゃそうですよ。

その他 上総経由で行くわけじゃないでしょ。家から行くんですよ。上総高校経由で行くのではないですよ。

県教委 君津高校から君津青葉。

その他 だから、それは通学じゃなくて、さっきのバスとかスクールバスとかってというのが平坦だとか山越えだとかっていうのはまだ分かるとしても。通学路を考えると、君津高校と上総高校の距離とか、そこが平坦だとかっていうことは、全く無意味な議論じゃないですかということ。考え方としておかしいですよ。みんな袖ヶ浦駅から乗ったり、富津のところから来たり、ということでやっているわけで。別に、君津、上総の間がどうのこうのとかって関係ない。通学手段として。だから、論理が破たんしている。

P T A 唯一の理由でしょ、それは。

その他 お気付きになってください。

拓心会 むしろ、久留里線を使って君津青葉高校に行くよりも、君津の駅から、バスなりなんなり使って、上総高校のほうに通うほうがよっぽど合理的だと思いますよ。君津青葉高校に通っている子たちにしてみれば。木更津、君津の辺りにいる子がね。そういうこと

じゃないですか。

県教委 あとは、君津青葉高校が総合学科ということで、いろいろな将来を見据えた選択ができるということと。あとは、上総高校が普通科と園芸科ということが、ちょっと違うところだと思います。学校として。

―― そこ、君津のほうがよっぽど違うでしょ。

県教委 当然ながら、生徒さんがどう選ぶかっていうことにかかってくると思うんです。

拓心会 あまりにも、君津高校と上総高校の違いがあり過ぎます。それを一緒にしたときに、さっきもおっしゃったんですけど、切磋琢磨してって言いますが、それは、ある程度同じ土俵に上がれる子たちが競い合うことであって、明らかに実力が違う子たちが切磋琢磨できるかっていったら、それはちょっと疑問があります。違いますか。

県教委 私が言いましたのは、普通科高校、君津高校に園芸科をとということになりますと、考え方の違う将来を見据えた違う生徒が一緒になるということで。例えば、イメージとして、船橋にあります薬園台高校、存じ上げていると思いますが、あそこは結構進学校です。一方で、園芸科も1クラスあります。やはり、生徒たちはいろいろ仲いいです・・・。

―― 交流はないそうですよ。

県教委 はい？

―― 卒業生知っていますが、交流はないそうです。園芸と普通は。あそこは、もともと農学校。

県教委 販売等行っています、学校の中で農作物を。そういったときに生徒も買えるという、そういった状況。あと、部活動も一緒にやるっていうことですね。

PTA でも、あまりにも学力格差があり過ぎるから乱暴な話ですよ。君津高校は進学校で、上総高校は言っちゃ悪いけど、うち両方とも通わせているけど、学力格差が本当あり過ぎるから、交流しようにもできないと思いますね。

その他 すいません。私、25日に説明して、回答いただきましたけども、ねつ造されていますので怒っています。もう一度聞きたいのですが、よろしいでしょうか。

司会 ちょっと待ってください。今の出ていることに対しての別のお考えの方いらっしゃればどうぞ。

拓心会 通学を理由に統合先を選んだみたいところが理由になっちゃうと、木更津と木更津東くつつけりゃいいじゃないのって話になっちゃうんで、そこはちょっとあんまり主たる理由と言わないほうがいいじゃないかなと思うんです。

もう一つ、ちょっと君津青葉高校の話が出ていて。多分、こちらの方は、青葉と上総をくっつけて、上総を保護するというようなイメージで多分質問しているんだと思うんですけども。君津青葉高校も4クラスですよ。でも、今回の案の中には、君津青葉高校の名前は一切出てこないんですけど。県教委の皆さんの理由は、生徒の教育環境改善を第一ですよ、統合理由は。であるならば、なぜ青葉が何もこのプランに出てこないんですか。君津高校は単独でも存続できるだけのクラス数ありますよね。そうですね。だけど、上総高校は3クラス、君津青葉高校は4クラスでしょ。今、33年までの中学卒業者のデータ出ていましたけど、実際には平成40年までとかのデータ出せますよね。そしたら、君津青葉高校だって、3クラス、2クラスになっていく可能性が当然あります。であれば、単独で存続できない君津青葉高校と上総高校を両方救うのが、生徒の環境改善じゃないんですか。皆さんの理由に乗った上で言っている理屈なんですけど、なぜこのプランに君津青葉高校が出てこないのか。表向きの理由を生徒の教育環境改善と言っているんだしたら、4クラスの君津青葉高校を何とかするプランが具体的に示されていいはずじゃないんですか。どうでしょう。

県教委 先ほどお話ししました、地域の状況を勘案した結果ということで、何度も繰り返しになりますけども、君津市は農業に力を入れているということなんです。君津青葉も農業中心の学校であり、上総高校も園芸科がございます。その二つを統合してしまうと、先ほど言いました、農業の専門学科がなくなってしまうという、そういったことです。あと、通学関係で選んだ、それは本当の理由ではないんです。いろいろな総合して勘案した結果、そういったことが望ましいと判断しただけです。

拓心会 はい。総合して勘案したって言うと、個々の理由を言わなくて済むので逃げられると思うんですけども。本当は具体的な一個一個の理由を。総合したって、何と何を総合したんですかって聞きたいところですが、お時間もあと思うので聞きません。今の君津市は農業に力を入れているからって理由だったら、だから、青葉残すんだよって理由ですよ。だとすればこの先も生徒数減少するんだから、そしたら青葉残せなくなるじゃないですか、違いますか。3クラス、2クラスになっても残すって今言いきれんんですか。上総高校だって、使用校舎を実習場として使うってということで一応、小糸の自治

会長たちを説得しているようですが、10年後も使うって約束できるんですか。でしょ？だから、青葉高校に対する、何も策がないってことはおかしいじゃないですか。普通に考えれば、なくなっちゃいそうな2校をくっつけて、何とか残しましょうよって話じゃないですか。

県教委 なくなっちゃいそうな2校というよりは、これから、やはり各学校に魅力を、特に、君津青葉高校ですが、魅力を作ってもらい必要があろうかと思います。先のごことはちょっと分からない部分がございます。また、この地区、私学が結構多い。そういった関係で、私学は募集定員も非常に多くなっております。総合的に、また繰り返しになりますけれども、勘案した結果となっております。

拓心会 私学のことを勘案した結果と言ったので、じゃあ、最後に一つだけ聞かせてください。この案を発表する前に、私学の関係団体、例えば、私学振興連盟とか、あるいは、私学振興議員連盟とか、そういったところに話はした上で案を出しているんですか。

県教委 してないです。

拓心会 分かりました。

司会 では、次の質問に移っていきましょうと思います。一応、順繰り回りました。もう一度、お返ししたいと思います。君津高校同窓会の関係の方のご質問、ご意見があれば、お受けしたいと思います。

同窓会 今、統合に向けて、具体的に32年度、33年度っていうふうにお話ございました。なんか聞いていると、統合されていくんではないかというふうに思うんですけども。今後、もし統合された学校がどんな魅力的な学校になっているのか、魅力化を図っておっしゃいますが。具体的に、例えば、私が、今後、この学校卒業したんだよって言ったときに、今の君津高校以上に誇らしく、みんなに語るができるのかっていうのが甚だ疑問なので。どんな学校にしたいかっていうヒアリングをこれからまた具体的にされるのかっていうことと。それから、もし皆さんがたが、何年か後に学校がこんなふうになったよっていうような、思い描くような、人に言えるような学校の印象を一言ずつ発表していただきたいと思います。魅力的な学校になるんですよね？ 統合されたら。どう魅力的になったのかっていうのを想定して、お一人ずつちょっと発表していただきたいと思います。それが全然分かりません。私、今以上に新しくなった学校、校名も分かりませんが、この学校出たんだよって、後々後輩たちに語れるようになるのかどうかっていうところで、それ、歴史ある上総高校の皆さんがたも同じかだと思います。出た学校が、なんだか

こうなっちゃったよっていうふうになるのか、そこが。どうぞ、皆さん、魅力化を図るっておっしゃっているんですから、どんな魅力的な学校になるのかっていうのと。それから、今後、それヒアリングしていく計画がどのようにされるのかっていうことを教えていただきたいと思います。

県教委 まず、魅力ある学校づくりということでございますが。今まで普通科だけで君津高校として、進学実績等、重ねてきた。そこに新たに農業の学び、園芸の学びが入ることによって、地域との連携、新しい手段を持ったのかな。また、今後、教員基礎コースを入れる中で、そういう小中学校との連携取組の中でも役に立つのかなというふうに考えているところでございます。今後、具体的な取組については、学校のほうに準備委員会を設けてまして、具体的な中身については、検討させていただきたいと考えています。

同窓会 学校というのは、現在の通学されている学校のみennaにということですか。

県教委 いえ。2つの学校で、もし、今後統合ということになれば、組織を作って、その中で具体的な魅力づくり、そういうものを考えていければ。

同窓会 また、私どものような者を集めて、ヒアリングする機会とか、意見を。

県教委 基本的には、学校の先生方で組織を作っていたいただきたいと考えています。

同窓会 先生方で作る組織。地元の方ですとか、PTAの方とか同窓会は、もう全然入らないような形？

県教委 例えば、別途、地域の方のご意見っていうことであれば、開かれた学校作り委員会とかあるかと思いますので、そういうところで言うていただくことも可能かなとは思っています。

同窓会 はい。ちょっとしっかり聞いておきます。じゃあ、すいません。どんな魅力になるかを一言。

県教委 先ほどから同じなんですけど。園芸科を入れることで、地元とのつながりが、君津高校の周辺の地元との園芸を介したつながりが、恐らく、近隣4校、君津高校を入れた4校は、つながりがもうあるかと思うんですが。加えて地元とのつながりが生まれてくると思います。当然、今、課長がお話ししました、細かなことにつきましては、今後、君津高校と上総高校の先生方が一緒になった委員会が立ち上がります。当然、我々も入るんで

すが、そこで地域、あるいは PTA、同窓会の意見を集約して、その場に反映させるのは当然可能でございます。最終的には、魅力ある学校にと考えております。

同窓会 どんな魅力かっていうのもお願いいたします。

県教委 私、君津在住ではございませんが、在住じゃないんですけども、上総高校の花いっぱい運動っていうのは聞いたことがあります。今から 10 年ぐらい前だったでしょうか。上総高校の取組が全国的にも優れている、素晴らしいということで、評価を受けまして。たしか、当時、文部科学大臣賞であるとか、記憶に間違いがなければ、内閣総理大臣賞まで受賞されたんじゃないかと思えます。君津市に在住されている方の中にも、例えば、上総高校のシクラメンをご購入いただいて、この季節に飾っていただいているとか、あるいは、ふるさと返礼品ですか、それで上総高校のメロンが採用されているなんていうことで、地域に浸透という言い方は乱暴かもしれませんが、地域とつながっているということが実感できるのではないかな。農業、園芸を学ぶというのは、見えるという部分では、普通科にない魅力があるんだと思えます。これを統合した将来の君津高校、上総高校に農業の良さをいかしていく。また、今まで取組んできた、花とかメロンだけでなく、今までの進学校としての君津高校に園芸科が設置されるということで、今度は、大学等の進学を目指す園芸ということも可能なのではないかなというふうには考えております。以上でございます。

県教委 統合校に園芸科を新しく設置するということですが、現在の上総高校、他の薬園台高校とか、県外の園芸科、普通科と一緒にいる進学率の高いところを調査しますと、やはり園芸科も進学の生徒に引っ張られて、一緒に大学進学を目指しているというような学校もたくさんあります。また、部活動も非常に強いですから、そういったところも。その選手になりたいからという。ちょっと園芸とは外れてしまっているような生徒も入っているのは事実ですけども。そういった中では、君津高校に引っ張り上げていただいて、非常にいい学校が出来るのではないかな。また、山の上 4 校の芸術会のようなところに、小学生に花を植えたりとかっていうことも、そういった教員基礎コースの中でも、そういった魅力をどんどん上げていきたいと考えています。

同窓会 あと、最後のお一人ですが。私が、例えば、中学生の子どもを持っていたら、果たして行きたい学校なのかっていう、そういう視点で、皆さんもちょっと聞いていただきたいんですけども。1 クラスの園芸のことをかなり皆さんおっしゃってくださったんですが。割合としては、普通科のほうが多いわけです。この学校受けたい、いい卒業生がいっぱいいる、この学校が魅力的だって思える学校に、果たして、今以上になっているのかっていうことをお聞きしたいと思っております。

県教委 私の方からも、上司からもお話あったように、君津高校の普通科での魅力っていうところが、実際、そのまま残るとい形の中で、また、園芸のほうに関しては、農業のほう、今現在、かなり厳しい状況になっている。また、工夫しているところがあるので。そういったところで、経営者的なところを、特にそういった園芸のところも含めて携わることによって、そちらに進むところも考えられるのかなと私は思っています。

同窓会 ありがとうございます。今の感想ですが、地に足のついた意見を収集されて今のことが決定されたのかっていうのは、やはり甚だ疑問に思います。残念です。非常に残念な感じで受け止めました。本当にいい学校になるのかしらって期待していますけれど、ぜひ、今後学校づくりに向けても、意見を私たちも述べていきたいですし、聞いていただきたいと思っております。以上です。

司会 今の、魅力ある学校づくりということでしたが、上総高校の同窓会の方、何かそれについて、ご意見があれば。いかがでしょうか。

同窓会 すいません。上総高校ではないですけど、よろしいでしょうか。

司会 はい。

同窓会 君津高校の6期生、そして、3人の子どもを君津高校に通わせた者です。まず、卒業生としまして一番心配なことは、校名がどうなるのか。そして、校歌はどうなるだろうか。特に、子どもたち、運動系におりましたので。例えば、野球部で最後に歌う歌はどうなるだろうか。それ、とても単純で、そんなことって言われることかもしれないけど、とても重大なことです。そこが一番不安でしたし、それは君津高校だろうが上総高校だろうが、同じお気持ちだと思います。それと、先ほど、もし、自分に中学生の子どもがいたらっていうお話でしたけども。実際に、この2月、受検をされるお子さんを持っている、君津高校の父兄の方ではありませんけども、実は今度受検生がいるんだけども、統合するんですって、君高受けさせようと思っていたけれど、やめようかしらっていう声を実際聞いております。

3人、約10年にわたって子どもたち通っておいりましたので、それぞれ志願倍率の変遷がありました。上の子のときは1.3、4ぐらいありましたけども、真ん中の子ども以降、すごくやっぱり1倍切るんじゃないかっていう時期が、君津高校にもあったかと思えます。それを当時の校長先生方、各中学校回られたり、いろいろな努力をされて、もちろん、君津の英語コースとか、いろいろな魅力も加わったおかげだとは思いますが、昨年、受検倍率、随分上がってきたかと思えます。それが、また、今回のこういう合併の話で下

がるようなことがあるのかどうか。また、それに対しての、どういう対策を県の方でしていただいたのか。学校任せだったのかどうか、そういうことをちょっと見えてきておりませんし、とても心配しているところです。実際、君津高校、上総でしょって言われてしまうのは、君高の関係者としても不本意ですし、上総高校の方だって、つらいことだと思うんです。どうしたらいいのかなとは思いますが、そういった対策等がもしありましたら、もししていただけたのであれば、教えていただきたいです。

県教委 はい。11月16日に、新聞で公表された案を、12月下旬に説明会で説明させていただきました。その後、いろいろな意見をいただいて、当然のことながら、あくまでも策定決定は3月ということになります。策定決定してからは、われわれ県の教育委員会も十分周知をしていくと考えております。当然、中学校側に対しても。先ほど、校名、校歌、校旗もそうでしょうか、話にございました。今後、先ほどお話ししました、次年度、各両校の先生方、当然、管理職の先生もそうですが、集まった準備委員会で、今後、校名、校旗、校歌でしょうか、そういった話し合いが持たれていく、そういった段取りになっております。最終的に、校名が来年から準備委員会始まって、前年に校名が確定すれば、そんなスケジュール感をもって考えております。以上です。

県教委 追加でございます。今、説明があったとおりです。統合が決まった後、具体的なことはその後、さまざまな準備を進めていかなければいけないというふうに思います。校名が決まれば、校歌もまた。例えば、仮にですが、校名がそのままの、どちらかの学校の校名がそのまま踏襲するっていうようなケースも今までございました。例えば、平成27年でございますけれども、県内いすみ地区の大原高校と岬高校、勝浦若潮高校の3校を統合した際には、準備組織のほうから、大原高校がいいというご意見が出されまして、それでは大原高校でいこう。校名が変わりませんので、校歌もそのままいこうというような例もございました。逆に、私がかつて勤務した学校ですけれども、100年を超える伝統校と50年ぐらいのやはり伝統ある学校でしたけれども、そのときには、全く新しい校名にしよう。校歌も新しくしよう。ただし、やっぱり古い校歌っていうのは大事にしたいということで、学校の体育館に、校歌のボードでしょうか、習字の字で掘った、額で飾ってありますけれども、それは大事に校舎のほうに移しまして、かつてこういう校歌ありましたということで、来る方々に分かっていただくような掲示をして、かつての校歌も大事にしていきたいというようなことがございました。以上でございます。

県教委 先ほど、両校の先生方が構成される準備委員会と言いましたけど。校名っていうのは非常に重要な問題ですので、当然ながら、同窓会、PTA等、いろいろ幅広く、候補を募集する、そういったことをやっております。当然のことながら、今回のことにつきましても、そういったことになるかと思えます。

司会 では、次に、PTAの方、何かご質問。

PTA 上総高校と君津高、両方、子どもを通わせたことがあるのですが、さっきもちらっと言いましたが、学力格差がものすごくあります。極端な話で言えば、君高は高校生レベルですけど、私の子が通っていた時代、上総高校は小学生レベルでした。それが統合するっていうことは先生たちにもかなりの負担があってカバーしていかなくちゃいけないですよ。そこを埋めるために。その対策とかはきちんと取るつもりでいるでしょうけれど、具体的にどういうふうに埋めていこうとしているんでしょうか。

県教委 かつて、統合校には、いろいろな学力の差がある、そういった学校の統合もございました。そういった場合、それは今後、何度も言うようですけども、準備委員会等、検討して、結果的に、統合はしたものの、クラスを別々にした、そういった例もございます。従いまして、そのクラスに応じた授業、試験問題、そういった例もあります。一緒にした例もございます。あとは、統合に向けて、統合後、どのような形になるかっていうのは今後検討して、いろいろな観点から、具体的には君津高校の校長先生中心に話を伺って、あとは上総高校の校長先生から生徒の状況を伺って、それで検討していく、そういったこともございます。どこで学ぶかというのは、今はまだいろいろ検討段階でございます。

PTA それはノープランってことですよ、学力格差だって一目瞭然じゃないですか。君高と上総高校で学力格差があるって。そこを統合するってことは、そこも含めて考えた結果、統合するってことですよ。そしたら、ある程度、こういうふうにもっていけばうまくいくのかなという考えがあつての上でだと思ふんです。その考えとかは。

県教委 まず、使用校舎は君津高校、これはもうご説明したとおりです。ただ、上総高校の現在の普通科2学級、園芸科1学級はどうなるか分かりません。3学級で募集するの。33年度統合ですからね。その学級が全て君津高校に移動するのか。園芸につきましては、実習は上総高校に来るんですけども、全部普通科も君津高校に移動するのか、あるいは、どうなのかっていうのは、当然、われわれの頭にはございますが、もっと詳しく各学校の校長先生に話を伺って検討する余地はある、そういったことを言っています。

拓心会 それって、要は、上総高校で園芸科がそのまま残って学ぶっていうことの考え的には、可能性はないと言えないってことですか。

県教委 1年生は、園芸科の授業実習がございますので、1日、週5日間ある中で、1日を考えております。2年生、3年生は、専門学科の実習が多くなりますね。2日間ぐらい

でしょうか。従いまして、園芸科につきましては、教員の配置もありますので、君津高校で一般教科を学んで、実習のときは上総のある実習所をとすることは、現在考えておりません。

拓心会 結構、バス移動だと、子どもたちの負担になりませんか。移動時間。その時間、何もできないですね。

県教委 現在の大原高校が、もっと移動が距離あるんですけども。朝、バスの中でホームルーム、連絡事項等をやったり。あとは、タイムテーブル、普通の学校とは変えて、最終的には終わりの時間がある程度、合わせる。部活動が合流できる、こういった事を考えています。

拓心会 そうすると、子どもたち、実際に子どもたちの考える魅力っていうところが薄れるような気もするんですけども。そういう移動しながらのホームルームだとか、移動があるっていうことで、子どもたちは、なんかそれだったらちょっと嫌だなとか、そういうふうにマイナスに働くっていうことは考えなかった？

県教委 当然、いろいろな考えがあろうかと思えます。

拓心会 大人はそうですけど、子どもたちにしてみれば切実ですね。実際、通うんですから。そこをやっぱり踏まえてもらわないと、魅力っていう意味では。魅力ある学校というのは、要は、通う子どもたちが魅力に思わなかったら意味ないですね。われわれ大人が、あの学校今度統合する学校いいねって言うんじゃないで、実際に受検して、そこに行く子どもたちが魅力を感じなければいけないので。そこのところでマイナス要因になるようなことは、なるべくないほうがいいと思いますけど、違いますかね？

県教委 それはおっしゃるとおりだと思います。ただ、それ以上に、他で魅力を出せればと考えております。

拓心会 難しいと思いますよ。何となく肩身が狭い思いするのだったら、例えば統合までの間の普通科の子たち、上総高校受けようかなと思ったけども、君津高校と一緒に通うのだったら、何となくちょっと頭のいい子たち、上の子たちと一緒に通うのはなんか片身狭いから、じゃあ、私学のほうにしようかなとか、むしろ私学のほうに流れちゃう子が余計増えるのではないですかと思いますけど、単純に。そういうことも考えてはないですか。

県教委 最終的には、中学生の保護者の判断になるうかと思うんですが。当然、そういった懸念もあろうかと思えます。

拓心会 例えば、中学校の段階で、私学の中学に通う子たちも小糸地区は多いですけど。それは、要は公立学校の魅力が薄いのが、まず一番の原因ですね。それが、中学だけでなく、高校も同じような流れになり、それで私学のほうは、かなりクラス数多いですよ。通っている子たちも多いですけど。県立高校のほうがだんだん減っているというのは、やっぱりそういうところなんじゃないですか。最初の方で言っていました、魅力っていう部分で、どうも不足しているのではないかなと思うんです。

県教委 お答えになるかどうか分かりませんが。私立高校の方が、私も子どもが受験をした際に、かつては体験入学、そういったところに行った際に、公立高校の体験入学も何百人も来ていたよ、お父さんっていう一方で、私立高校の場合は、帰りにカレーの券が出て、これでごはん食べてっていいよって言われたんだ、すごいよね、私立高校はねっていうのを聞いたときに、例えば、これを公立高校でやったら、税金使って、ちょっと言い方良くないですかね、なかなかそういうこと難しいのかな。やっぱり、知恵比べではないですけども、それこそが切磋琢磨になるのかな。

私立はバスを走らせています。よく中学校の校長先生から、公立もバス走らせたらどうですか。上総や青葉のようなところはどうでしょう。ちょっと不謹慎な言い方だったらごめんください。定年を間近にひかえられた校長先生が中学校に訪問した際に、校長先生、定年だったら、バスの運転手やって生徒運んだらどうですかっていうふうに、真剣な顔をして、中学校の校長先生もおっしゃるっていうぐらい、いなかと言って語弊がありますかね、交通不便地の方が学校に通うっていうことはなかなか大変だっていうことは承知しております。ただ、なかなか、私学系のことは私素人ですから分かりませんが、身を削って、恐らく、スクールバスでしょうか、バスを走らせ、校舎をきれいに整える、エアコン完備、それだけお金の掛かることですから、当然授業料も高くなってくるんでしょうけども、それに見合うだけのものをやっていくというようなことを考えておられるのかなというふうに思います。

ですから、全く私立高校と同じことはできないでしょうけれども、例えば、先ほどから出ている英語コースであったり、あるいは、教員基礎コース。たしかに、教員基礎コースは、先生の資格は取れません。大学に行かなければ、当然教員免許も取れませんし。高校出たから、必ず学校の先生になれるってものじゃありませんけども。中には、高校で将来学校の先生になりたいということで、教育学部へ行ってみたけども、蓋開けてみると、こんなに大変だと思わなかった。子どもは好きだなと思っていたけども、いざ教壇に立って、言うこと聞いてくれない子どもたちを前にして、こんなだったらちょっとやっていけないと思ったっていう、いわゆるミスマッチに後になって気が付いたという例もあるんだと聞

いております。ですから、仮に、君津高校の教育基礎コースはこれからですけども、場合によっては、そういうことが分かるだけだっただけいいのかな。将来、教員になって頑張ってみようという子たちが、いろんな体験をして、やってみよう。あるいは、教員基礎コースでやったことをいかして、もし教員にならないけども、それをいかして、例えば、別な道に行くってということもありなのかな。

それから、移動手段のことですけども。同じ例を繰り返して申し訳ないんですが。27年度に統合した、いすみの大原高校に登校して、農業の実習の場合には、旧岬高校まで通いますので、君津高校と上総高校でも距離がある。そこで実際、運用はしておりますので、そういった前例のうまくいってるところ、課題等も把握はしていきたいと思っております。

拓心会 教員基礎コースを作るんなら、学校を減らさないようにしてください。教員基礎コース作って、学校減らしていたらしょうがないじゃないですか。

県教委 そこはある程度減らしたくないと思いつつも、ある程度のやはり適正な規模は必要かなってということで、4学級から8学級くらいまで必要かなということで考えておるところでございます。

拓心会 それで、だから、適正の数字をさっき言ったように、青葉と上総高校が一緒になることの方が、数字的には合うと思うんですね。違います？ 数字で言うならば。

県教委 数字で言うならば。

拓心会 そうですよ。さっきから言っている適正数というのは、そちらのほうがむしろ正しいやり方だと思います。しかも、同じように、学力の格差もあまりない学校が一つできあがることで、むしろ魅力は増すと思います。学力が高くて進学校の君津高校が、学力の低い、低いうって言ったらおかしいですけど、上総高校と一緒にすることでのデメリットの方が大きいと思います。

司会 次もあると思しますので、急がせていただきたいと思えます。拓心会の関係の方、何かご意見があれば。

拓心会 スケジュール観で、決まってからのスケジュールを丁寧にやりますって話はいいいです。決まるまでのスケジュールを丁寧にやってほしかったです。急じゃないですか。11月19日ぐらいに、たしか新聞載ったと思いますけど。新聞に載るイコール全員が知るんですか。違いますよね。新聞に載ってから、何日か何週間かたって、やっとみんなに認知されるわけでしょ。12月25日に説明会やっても、その説明会への生徒通じて保護者

に全部チラシ配りました？ 自治会に1枚入れれば回覧板回りますけど、自治会回覧出しましたか。やるべきことやってないですよ。告知として、たいしたことやってないじゃないですか。それで、パブリックコメントとか、1月5日までで締め切って、3月に上程しますっていうのは、これは乱暴ですよ。1年ぐらいせめて、せめて1年は後ろ倒しにしてもらわないと。来年の3月に作ります。これがせめてもの、私は、1年遅らせるっていうのがお互いの間を取る建設的なものだと思いますよ。いくらなんでも急すぎますよ。

だって、じゃあ、ここの土地の所有者の承認ってもらっているんですか。統合しますって。ここ、土地の所有者の承認なかったら、だって、ここは君津高校に無償で貸しますって約束になっているでしょ？ 土地の所有者と。土地の所有者の承認なくして、先に県議会に上げるのですか？ おかしくないですか。そちらの作った、案が取れたプランになっちゃって、確定しましたっていても、土地所有者が後からへソ曲げたらどうするんです？ だから、手順としても問題だし、まず、市民の皆さんの理解を得る手順としても急すぎますって。だから、決定を、案を取るのをもうちょっと先延ばしてください。もう少し議論をしましょうというのが私の提案ですが、いかがでしょうか。

県教委 土地の話としては、県立学校用地としてお借りしているものだと思いますので、県立学校用地として活用を変えるものではないと認識しています。

あと、説明につきましては、うちのほうからは、各学校、各市町村教委等へ、プランを出したときに、一部改訂プログラム案の内容については、資料送って、説明会の資料についても同様に、その旨、報告をさせていただいた。あとについては、私のほうでも把握しておりません。

拓心会 県立学校用地として借りているってことは、私の認識間違っていたかもしれないですが、統合しても、何にも建物を増やしたり、というのはないってことですね？ 新たになんか建てるってことはないですね？

県教委 建てる、建てないという話ではなくて、県立学校の用地としてお借りしてるということですよ。

拓心会 いや、建てるのだったら、土地の所有者の許可が必要なんです、県立学校用地として借りていても、お分かりですか。ここに、例えば、校舎っていうかプレハブでもいいですけど、なんか建てますっていう話になったら、土地所有者の許可なかったら建てられませんよ。だから、土地所有者の承認必要でしょって話です。

県教委 すいません、その具体的な建物については、今のところ特に計画があるわけではございません。

拓心会 いずれにしろ、統合するんだから、それだったら、土地所有者に承認をもらうのが先でしょって話。これ、常識ですよ、社会通念上当たり前ですよ。それもまだやってない段階でプランを決めるのではなくてという筋論が一つ。市民の皆さんの納得を得るには期間が短いって話。だから、もうちょっと、3月で決めますじゃなくて、もっと先送りにしてくださいって。

司会 続きまして、上総高校の同窓会の方、いらっしゃれば。先ほどはいなかったですが。なければ、次、その他の方のご質問ということで。

その他 昨年12月25日に質問した件につきまして回答が来ましたが、ホームページも出ていますが、これを端折り、捏造されておりますので。さらに、きょうは意見交換会、これ別にガス抜きの場として私は考えておりません。あくまでも、統合を阻止すると、そのための言質を取るためという場ということで意識をしておりますので、それも含めて、ちょっとご質問したいと思いますけど。

まず、12月25日に私が質問したものに返ってきた回答です。そちらが出した回答ですね。生徒や保護者のニーズを踏まえる経緯があったこと、その根拠を示して説明してほしい。そちらは端折って書いていますが、ここにこう書いてあります。回答：「学校訪問を行い、校長より学校の状況を把握するとともに、地域協議会等でいただいた意見を参考に、慎重に検討してきたものです」というご回答がありました。これは公式文書ですから、正式な教育委員会のご回答だということですが、私は、行政計画の意思決定に著しい瑕疵があるので、その辺を県議会の議員の先生方にもお知らせして、ぜひ、この県立学校の設置条例の改正案を否決してほしいと思って具体的に運動しているんです。なので、そちらの回答でその行政計画に瑕疵があったところを一つ一つ情報集めているんです。そこで、まさに、ここに「生徒や保護者のニーズを踏まえて」これは、そちらが立てたプログラムの中に書いてあったんですけども。その答えとして、「学校訪問を行い、校長より学校の状況を把握するとともに、地域協議会等でいただいた意見を参考に、慎重に検討してきたものです」という回答がありました。しかし、これは違い、生徒や保護者のニーズを踏まえていないということです。自らが計画した自らが立てたプログラムを自らが違背している。これは、著しい瑕疵があるのではないのでしょうか。このことをもとに、県議会の議員の先生方に、こちらのほうからいろんな活動、もちろんプレスリリースも含めて、いろんな活動をしていながら、絶対にこの統合を阻止していきたいというふうに思っています。まず、これに関して、生徒や保護者のニーズを踏まえる経緯があった、その根拠を示してというふうに、私、エビデンスと書きました。しかし、そこで、校長先生から学校の状況を把握した地域協議会っていうのは、昨年も説明しましたが、保護者っていうか、そういうものが、袖ヶ浦の小学校のPTAの役員の方1人、あとは全部産業関係者、あ

るいは市役所の方ということ。ということは、生徒や保護者のニーズを踏まえていないということが、これではっきり分かったという。これでよろしいですね？ 以上です。

県教委 地域協議会でいただいた意見ですが。その中で地域のニーズに応えるとともに、将来の方向性を見据えて、目標を持った進路が選択できる、環境の整った高校等、いろいろな意見をいただいているということ。

その他 違う。生徒や保護者のニーズを踏まえると、プログラムに書いてあるんです。ところが、生徒や保護者のニーズを踏まえた経緯がないので、どういうふうな経緯だったのですかと言ったら、ご回答が、学校訪問、校長より学校の状況を把握するとともに、要するに、学校の校長先生の意見を聞いたと。それから、地域協議会等でももらったと。そこに生徒や保護者のニーズを踏まえてって。でも生徒出てきてない。保護者っていても、袖ヶ浦の昭和小学校のPTAの女性の方1人ですよ、平成25年の第1回るとき。地域協議会のプログラム。私、議事録、全部見ましたけども。これで、生徒や保護者のニーズを踏まえたという経緯がということをそちらが回答しているんですよ、そこで。しかし、これは生徒や保護者のニーズを踏まえていないという証拠になっている、文書で。これを言質としてよろしいですね？ これは公式文書ですよ？

県教委 我々としましては、生徒、保護者のご意見というか、校長先生を通じて伺っております。何回か校長先生に話を伺った結果、検討してまいりました。

その他 生徒や保護者のニーズも校長先生が代弁をするということで捉えられているということですね？ 今、全部録音していますがよろしいですね？ はい。分かりました。ありがとうございます。

県教委 各学校の開かれた学校づくり委員会ですとか、自治体の集まり等に行って、いろいろご意見伺う場を設けさせていただいている所でございます。

その他 そのエビデンスを示してくださいと去年言ったんですよ。それが無い。だから、生徒や保護者のニーズを踏まえたという経緯を、エビデンスを示してくださいと言って、回答がこれだったから、今日、こうやって質問しました。もうご回答ありません。よく分かりました。

司会 それでは、2巡いたしましたので、これ以降は所属に関係なくご質問、ご意見があれば、お受けしたいと思います。

拓心会 天羽高校の3クラスですけど、統合しないで残しますよね？ それは工業基礎コースっていうので、魅力をつけるのが千葉県教育庁の方の考えだと思うんですけど。それであれば、上総高校も3クラスだけ、例えば最先端のノウハウを学ぶとか、ドローンとか、そういう何か魅力をつけて残すという、天羽高校と同じ選択肢もできたのではないかなと思います。そこでお聞きしたいのは、天羽高校も3クラスだけど、新たなコースを作って残すという選択肢。片方の上総高校は、そこは諦めたのか。その理由をおしえてください。

県教委 天羽高校は、地域連携アクティブスクールに指定されております。3クラスの中から、そこで学び直し等で一定の評価を受けています。このたび、工業基礎コースを案として公表した次第でございます。われわれとしては、魅力が今後ますます出てくるのかなという判断がございます。

拓心会 それは、天羽高校は今後そうなりますから、3クラスで残しますよっていう意味ですね。上総をそういうふうにはできなかった、諦めて統合という最終的なところに至った理由を教えてください。例えば、素人考えですけど、ドローンの農業を学ぶとか、デルモンテの工場が来ますんで、そういった工場を学ぶとか、LEDで作る野菜の学ぶとか、そういった最先端の農業を学ぶコースを作る。あるいは、全く別のコースでもいいし。それこそ何か魅力をプラスして上総高校を残そうという判断に至らなかった理由を教えてください。

県教委 上総高校でございますが、平成16年、17年、記憶が定かたでございませませんが、県から自己啓発指導重点校の指定を受けた経緯がございます。ご案内かどうか、第9学区では市原市の姉崎高校も同様でございました。姉崎高校は、いろいろと取り上げられている経緯もございますので、お分かりの方も多いかもかもしれませんが学校がかなり変わった。かつては定員割れギリギリだったところが、かなり倍率等が上がってくるっていうような経緯がございました。県内でこういったような取組してきた学校は、他にも浦安であったり船橋法典であったりとかございました。上総高校も何とか頑張ってやってきたのですが、なかなかそこまでの劇的と言った改善まで至らなかったということでその後も定員の充足率等見ると、なかなか4学級が3学級、3学級でも充足できていないような状況で、統合に踏み切ったということでございます。

拓心会 それって要は、失敗したからその尻ぬぐいっていう感じに聞こえるんですけど。もっとさっき言ったように、上総高校が園芸科って言いますが、農業のほうにもっと特化したコースを作ったり、そういう手だてをしてその結果駄目だったら分かるんですけど。何もやっている期間ないんですよ。園芸科はたしかに、地域の子どもたち、小学生たちと一緒に農業体験やったり、花いっぱいやったり、いろんなことやっていますが、そこか

ら先の一步進んだことって、ここ数年見たことがないです。そういう努力っていうのがないのに、そうやって結果が出なかったから統合っていうのであれば、それはちょっとなんか違うんじゃないかなっていうふうに、単純に思います。

県教委 その件につきましては、ご指摘として受け止めたいと思います。

司会 他に、ご質問、ご意見があればお受けしたいと思います。

P T A 皆さんの話を聞いていて発表が急だというのも、そちらはそう思わないかもしれないですけど、こちらは本当に性急な話に感じます。中学校の生徒たちも困っていると思います。あと、最近の統合で、これだけ学力差があるところは恐らくないと思うんです、これまでは。それでは、子どもたちが本当にすごくかわいそうな思いをすることがあると思います。だから、先ほど言っている方もいましたけど、実際に移る子の為にそこは先に考えてあげないと、だからやっぱり時期も尚早ですし、具体案も響かないですし、しっかり考えてから、時間をかけてから取組んでほしいです。

司会 他にご意見、ご質問はございますか。

同窓会 すいません。先ほど、もう1年、決定を延ばせなかったのかっていうご質問されましたが、そのことについてあと1年延ばせないか回答をいただけないかと思います。預かってはいただきましたが。これだけ皆さん、性急だと思っております。実際、新聞で報道されても、まだ知らない方もいらっしゃると思います。それくらい、知った方があぜんとし、多分、また3月ぐらいになったら、そんなことがあったのかと思います。あと1年延ばせないのかっていうことの回答をどっかの段階で回答していただければと思います。なぜ今度の3月じゃないといけないのかっていうことも含めて。今、いろいろ意見は申し上げましたけど、結局何を言っても無駄じゃんっていう感じが否めないんですね。もう決まっているんだ。でも、具体的なことは決まっていないけど、効率化のためにこうなっちゃうという印象でしかないです。本当にそう思います。

―― まだ方法ありますよ。

同窓会 でも、3月に決まっちゃいそうですね、なんか。

―― 決まりませんよ。

同窓会 分かりました。でも、なんだか、スターが吸い取られていって、返ってくるもの

感じないので。

その他 それなら、今の小学校6年生とか中1の子たちは、上総に入れて、卒業君高だからね、上総は勉強しなくてもいいんだよ、受験勉強なんかしなくてもいいんだよっていうふうになっちゃいますよ。で、上総高校とかが3倍とか4倍になっちゃったりして、そのときの志願倍率がね。

同窓会 意見交換会も無駄みたいな気がするんですけど。

その他 上総で入って、君津で卒業って、こんなおいしい話ないよ。

同窓会 すいません。どっかでなんかまた回答いただけませんか？

県教委 ご意見として伺いたいと思います。

同窓会 ご意見としてね。さっきもそうおっしゃいましたけれど。

司会 他にございますか。

拓心会 12月のときに、中学生の保護者の方が言っていた、中学校への説明会をやってほしいっていうのは、実際に行ったんですか。

県教委 やっていません。

拓心会 それは、やる予定もない？ あれが一番本当に切実な意見だったと思うんです。われわれは、子どもたちが卒業していたりとか卒業生だったりで、当事者ではないから、いいと言えないんですけど。これからの子どもたちを持つ保護者に対しての説明っていうのをどこかのタイミングで、決まってからじゃないですよ、決まる前にやらなかったら、これは意味がないと思うんですね。あのときに言っていたあの保護者の人の、本当にあの叫びは、一番大事なことだったと思うんです。それをくみ取らないで、やらないというその姿勢が、もうすでに決まっていることだからっていうふうにしかならないんですよ。ものすごく大事なことだと思います、説明することは。実際にこれから受験して入る子どもたちが何も知らないっていうのは、それで魅力のある学校っていうことを言えないと思います。だから、ぜひやらなきゃいけないことだと思うんです。世の中、新聞やインターネットを見ない人も多いと思うんですよ。だから、この話も知らない保護者の人も多分にいると思います。そういう方たちが、いざその受験のときになって初めて知ったという事で

あれば、それはちょっと問題じゃないですか。

県教委 新聞報道等での周知は、当然今、図っているところです。なお、もし決定した場合は、当然決定後高校のほうでの入試説明会等で、今後こうなりますという話はしていくということは考えておりますが、今のところ、うちのほうが中学校を回って説明会をするという予定はございません。

拓心会 だから、決定してからじゃ遅いんですよ。これから受けさせる人の意見とか思っているのは大事じゃないんですか。そこはいいんですか、その人たちが思うことって多分あると思うんだけど、それを汲まなくてそれを決定しちゃっていいんでしょうか。

県教委 30年度入学者についてと、決定後の入学志願者ということで対応はそれぞれしていきたいと思っています。

司会 まだご意見やご質問があると思いますが、時間があともう少し。

同窓会 きょうも意見交換会という形で聞いていましたが、意見として受け止めるということで聞かれていたと思います。今後パブリックコメントを行って、3月に上程ということですが、このパブリックコメントの意見も、意見としてお伺いしますということで、それに対して上程を取りやめる等の検討等を今後考えているのか、その辺りのご意見を伺います。

県教委 パブリックコメントは1月4日で終わって、いろいろまとめの作業に入っています。あとは、先ほどもお話ししました関係団体の意見聴取等、全てまとめて3月の下旬になってしまうでしょうか、当然ながら回答をさせていただこうという運びで進んでおります。あとは、2月の議会等の論議も踏まえながら、進めていきたいと考えています。

同窓会 分かりました。議会に当然この案件も上がってくる、提案も上がってくるということで今後の展開もあると思いますが。この意見交換会開きましたというアライづくりみたいなことにならないように、きちんとここで出てきた意見はその中でも、各委員会等にも反映していくように議会のほうにも説明できるような形でやっていっていただきたいと思っています。

司会 それは、教育委員会のほうに依頼ですか？

同窓会 平らな意見として、今、話しているところもあるんですが。千葉県議会の教育委員

会のほうに当然これら諮られるものだと思いますので、議会の委員会ですね。

司会 議会の委員会に対してですか。

同窓会 ええ。それに対して、きちんと説明を、パブリックコメントと、この意見交換会で出てきた意見等も含めて、できるような形で進めていただきたいと思います。また上程する、しないのところも意見交換会の中の意見を慎重に取り上げていただきながら、考えていただきたいと思います。

司会 ありがとうございます。それでは以上で意見交換会を終わりにしたいのですが、最後に同窓会会長のほうから何かございますか。

同窓会会長 確認ですが、3月に県の議会で案が決定されるのでしょうか？

県教委 決定をするのは、県の教育委員会の教育委員会会議で決定をするというので、今回のプログラムについては、当然、議会のほうにも説明しています。議会でもいろいろなご意見をうちのほうには頂くことになると思います。そういう事を参考にしながら、最終的に3月の教育委員会会議で決定していきたいというふうに考えています。

同窓会会長 分かりました。3月の教育委員会会議のその席で、今までの話を聞いていると性急だと。そこで、半年ないし1年先までこの統合に関しては日延べして欲しいという意見があったということ、委員会のほうに報告いただくことは可能でしょうか。

県教委 ここに限らず、いただいた意見については、当然、教育委員会のほうへ報告したいと考えています。

同窓会会長 再度、この意見交換会においては性急だったということ、ぜひ報告いただきたいということ。私は農業を生業としていますので、今回の統合で上総高校の園芸科を残すということに対して、今の説明を聞いて非常に違和感を感じています。農業の実際と上総高校の実際とがすごく乖離しているわけですね。先ほど、花いっぱい運動で、農林大臣賞だとか表彰受けたって言いますが、担当の先生がいらっしゃる時はそういうのはありました。今、そういう先生は異動していません。ですから、実情では花いっぱい運動は今ほとんどやっていません。ふるさと納税でメロンをやっているのは、先生が一生懸命やってメロンを作っています。生徒がやっているというのは誤解をうんでいるんですが。そこら辺の上総高校の実際の園芸、園芸施設は聞くところによると、上総高校より君津青葉高校のほうが数段優れています。私も青葉高校に行ったことあるんですが、非常にいい

農業実習場もありますし、施設もあります。ですから、あえて施設が整っていない上総高校で園芸科を残すよりも、本当に地域の農業に貢献する農業科を作るのであれば、むしろ、君津青葉高校のほうで集中的にやったほうが、よりいい生徒が育つのではないかなと思っています。先ほどの論理の構成で、君津市が農業一生懸命だと言っていますが、君津市だけじゃなくて、千葉県は農業の生産額第3位です。農業一生懸命やっているんです。ですから、君津市だから上総残すのではなくて、もっと全県的なそういう意味で、農業学校の再整備を望みます。だから、私に言わせると、教育委員会の方は、農業の実情と農業高校の実情をあまり研究されていないんじゃないかということ、すごく感じました。ですから、一意見として考えてもらいたいですけど、園芸農業をそういうふうに残すんでも、もっときちんとした学校の実情であるとか、地域の農業の実情であるとか、もう少し調査研究して、やっていただければいいなというふうに思っています。

今日は、意見交換会っていう形で、皆さんに意見を出していただきました。先ほど、課長さんがおっしゃったように、3月の教育委員会会議でどういう進展があるのかしれませんが、また大きな形でこういう場が欲しいとか、そういうリクエストがあれば、応えるように私は考えています。以上です。

司会 それでは、以上をもちまして、意見交換会を終わりにしたいと思います。最後に閉会の挨拶を、同窓会副会長お願いします。

同窓会副会長 今日は大変貴重な意見を言っていただき、大変ありがとうございます。以上をもちまして、県教育委員会のかたがたとの意見交換会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(了)